

防衛北海道

令和5年

1月発行 Vol.84



目次

- 新年のごあいさつ・北海道殉職隊員追悼式 2
- 日米共同訓練 3
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために 4
- 第45回防衛問題セミナー 5
- 「絆」（きずな）千歳市と自衛隊の紹介 6, 7
- 令和4年度自衛官候補生採用案内 8

編集・発行

防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



北海道防衛局 公式Twitter

@HokkaidoDB



北海道防衛局長から新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては良き新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より防衛省・自衛隊、更には北海道防衛局への深いご理解、多大なご協力を頂いておりますこと、改めまして心から厚く御礼申し上げます。

北海道・札幌では2030年の新幹線の札幌延伸に関連し、札幌駅や周辺の改修・改築が始まりコンコースや近傍の商業施設が閉鎖される等、何となく延伸開業が身近なものとなってきた雰囲気があります。

また、2030年の冬季オリンピック開催地として立候補もしており、開催地は今年以降に決定されるとのことで注目しております。

昨年は安全保障に関して、ロシアによるウクライナ侵略は無論のこと北方領土を含む極東地域における大規模な軍事演習の実施や、中国による台湾周辺での大規模な軍事演習及び我が国EEZを含む我が国近海への弾道ミサイルの発射、中口の軍事協力の強化、北朝鮮による我が国上空を通過させる形での弾道ミサイル発射を含むかつてない高い頻度でのミサイル発射など重大な出来事が数多くあり、皆さまの記憶にも残っているものと思っております。

このような状況につきましては、これまで言われている「我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す」といった表現では表せられない程の変化だとおっしゃる方も見受けられます。

そうした中で昨年末には「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」の策定が行われ、時代や状況に即した新たな安全保障や防衛の計画や目標等が示されました。

我々北海道防衛局も、この新たな目標の確実な達成を目指し、安全保障に係る政策等を道民の皆さまにお伝えすると共に、防衛施設周辺住民や自治体の皆さまと防衛省・自衛隊との架け橋となり、部隊のための施設の取得・管理等についても職員一丸となって尽力していく所存であります。

本年も皆さまの引き続きのご理解、ご協力、ご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



北海道防衛局 石倉 三良 局長

北海道殉職隊員追悼式



慰霊碑に献花する石倉北海道防衛局長

令和4年度北海道殉職隊員追悼式が10月15日、陸上自衛隊真駒内駐屯地で挙行されました。追悼式は、執行者の沖邑北部方面總監、共催者である泉大湊地方總監、安藤北部航空方面隊司令官、石倉北海道防衛局長による献花に続き、遺族による献花が行われ自衛隊の使命達成のために尊い犠牲を払われた北海道殉職隊員（324柱：内北海道防衛局職員3柱）をしのびました。

式典では、北部方面音楽隊による「国の鎮め」等を演奏する中、参列者全員が拝礼、黙とうを行いました。

日米共同訓練

Resolute Dragon 22

RD22の概要について

令和4年10月1日から10月14日までの間、矢臼別演習場、上富良野演習場、然別演習場及び計根別場外離着陸場等において、国内における米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン22）が実施されました。

本訓練は、陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の連携要領を実行動により訓練し、共同作戦能力の向上を図るものです。

本訓練には、北部方面隊から第2師団第3即応機動連隊（名寄駐屯地）を基幹として第1特科団（上富良野駐屯地）等の各部隊が、米海兵隊から第12海兵連隊（キャンプ・ハンセン）を基幹として第36海兵航空群部隊（普天間飛行場）等の各部隊がそれぞれ参加しました。

主な訓練として日米のAHヘリコプターによる射撃訓練、陸上自衛隊SSMと米海軍艦艇等による共同対艦戦闘訓練、第一線救護訓練等を実施しました。



RD22に組み込まれた米軍航空機の訓練移転について

○丘珠駐屯地に駐機するMV-22



○矢臼別演習場での訓練



本訓練では、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に所在しているMV-22オスプレイ等の訓練活動を沖縄県外に移転する事業も合わせて実施され、MV-22オスプレイ及びCH-53が丘珠駐屯地を、AH-1及びUH-1が帯広駐屯地を、それぞれ拠点として使用し、各施設における訓練に参加しました。

この訓練移転は、平成28年9月1日の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在米軍普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイ等の訓練活動を沖縄県外に移転するものであり、北海道内における訓練移転は今回で4回目です。

【当局の対応】

関係する自治体に対し、可能な限りの情報提供を行いました。また、訓練開始から終了までの間、矢臼別演習場、上富良野演習場、丘珠駐屯地及び帯広駐屯地等に職員を派遣し、部隊との連絡調整、訓練に関する情報収集、オスプレイの騒音測定及び米軍に対する物品・役務の提供を行いました。



防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～民生安定施設整備事業（一般助成）の紹介～ 矢臼別演習場周辺まちづくり支援事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

今回は、民生安定施設整備事業のうち、令和4年10月23日に落成記念式典が行われた別海町の生涯学習センター「みなくる」について紹介します。

落成記念式典には、曾根町長をはじめ、多数の関係者が出席し、北海道防衛局からは石倉局長が出席しました。

今回完成した生涯学習センター「みなくる」は別海町の新たな交流拠点として、地域住民や自衛隊との交流、芸術文化や各種団体の活動等に使用され、さらには災害時の避難所としての防災機能を有し、防衛施設の存在を前提としたまちづくりを目的として、生涯学習センターの整備事業に対し補助を行いました。

【補助事業の概要】

事業年度：平成30年度～令和4年度

補助対象事業費：約33億4千万円

補助額：約25億1千万円（補助率 7.5/10）

構造：RC造 地上3階建

延床面積：約5,209㎡



【町職員の声】

本施設は別海町市街地の中心部に位置し、子どもから高齢者の方までのさまざまな世代が利用しやすい場所であるため、町民等の交流、芸術文化やサークル活動等の新たな交流拠点として、誰でも快適に利用できる施設を目指し、別海町全体のにぎわいが感じられるまちづくりの推進に活用していきます。



第45回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和4年11月22日（火）別海町生涯学習センター「みなくる」において、防衛研究所 地域研究部米欧ロシア研究室 長谷川 雄之 研究員 と 陸上自衛隊 第5旅団長 鳥海 誠司 陸将補 を講師にお迎えし、別海町及び別海町自衛隊協力会の後援並びに自衛隊帯広地方協力本部の協力をいただき、第45回防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、石倉北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて曾根別海町長から後援者を代表してご挨拶を賜りました。



主催者挨拶
北海道防衛局 石倉 三良 局長



後援者挨拶
別海町 曾根 興三 町長

講演内容について



第1部講演 長谷川 雄之 研究員

第1部では、長谷川研究員から『ロシア・ウクライナ戦争と「揺らぐ」プーチンの国家戦略』と題し、ロシアによるウクライナ侵攻の衝撃から最新の戦況、拡大の危険性や日本の安全保障に与える影響等についてご講演いただきました。

第2部講演 鳥海 誠司 陸将補

第2部では、鳥海陸将補から『道東における大規模災害への備え』と題し、過去の災害と自衛隊（第5旅団）の対応、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えや自衛隊（第5旅団）の災害への備え等についてご講演いただきました。



今回のセミナーは、3年ぶりとなる集客型での開催となりましたが、約120名の方々にご来場いただき、皆様からは「参加して良かった。セミナーの機会を増やしてもらいたい」、「普段はテレビや新聞で見聞きしていたことが、今回はすべて生の講演で知ることができ大変良かった」、「大規模災害時の自衛隊の取り組みが理解できた。自衛隊と地域自治体との協力の大切さを感じた」などの意見をいただきました。

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。

きずな 「絆」



千歳市と自衛隊の紹介



キウス周堤墓群

千歳市は、石狩平野の南端に位置し、国立公園支笏湖や清流千歳川などの豊富な自然に囲まれた住環境と空・陸の交通アクセスや生活利便性に優れた都市環境が調和する道央圏の中核都市です。

市内には、「支笏湖紅葉まつり」や「千歳・支笏湖氷濤まつり」等、四季折々のイベントが開催される支笏湖を筆頭に、千歳川の水中を観察できる「サケのふるさと千歳水族館」、令和3年に世界遺産登録された「キウス周堤墓群」など、多くの観光スポットがあります。



〒066-8686

千歳市東雲町2丁目34番地

電話 0123-24-3131

<http://www.city.chitose.lg.jp/>

サケのふるさと千歳水族館

山口 幸太郎 市長



市内には、陸上自衛隊の東千歳駐屯地と北千歳駐屯地、さらに航空自衛隊千歳基地があり、市内に居住する自衛官とご家族、OBの方などを含めると、人口の約4分の1を占めています。

隊員の皆様には、千歳JAL国際マラソンや千歳市総合防災訓練をはじめとした市内の各種行事への支援を行っていただいているほか、地域活動への積極的な参加を通じて、地域コミュニティの形成や地域経済の活性化などにも大きな役割を担っていただいております。本市にとって欠かすことのできない存在となっています。

これからも自衛隊との共存共栄のまちづくりを進め、自衛隊との良好な関係を継続していきたいと考えています。



【千歳・支笏湖氷濤まつり】

支笏湖の湖水をスプリンクラーで吹き付け凍らせた、大小様々な氷のオブジェが立ち並ぶ、北海道を代表する冬の祭典です。

透き通った支笏湖の水で作られた氷像は、昼は太陽に照らされて支笏湖ブルーに輝き、夜にはライトアップされ、色彩豊かで幻想的な雰囲気が会場を包みます。厳冬のホットスポット、支笏湖へぜひお越しください。



支笏湖氷濤まつり
(しこつこひょうとうまつり)

陸上自衛隊



東千歳駐屯地正門



記念行事 観閲行進

東千歳駐屯地は、北海道の玄関である新千歳空港や日本最北の不凍湖として有名な支笏湖等、たくさんの方々が訪れる、自然あふれる千歳市に置かれ、総敷地面積約560万㎡を誇る陸上自衛隊最大の駐屯地です。

同駐屯地は、昭和29年に新設され、昭和37年には第7師団が創隊、現在は、胆振・日高の防衛警備や災害派遣を任務とするほか、民生協力及び国際貢献活動を行っています。

令和4年には、東千歳駐屯地創立68周年第7師団創隊67周年（第7師団の前身である第7混成団の創隊昭和30年）を迎え、3年ぶりとなった記念行事において実施した観閲行進及び訓練展示では、国内最大級規模の一糸乱れぬ行進が、訪れた方々を魅了しました。

今後も、千歳市をはじめ警備隊区9市19町と密接に連携するとともに、あらゆる事態へ迅速に対応すべく、防衛任務に邁進していく所存です。



司令部庁舎



冬季飛行場除雪

千歳基地は、北海道中央部、空港のまち千歳市に所在し、戦闘航空団が所在する道内唯一の航空基地で、北の空を守る第一線の精鋭部隊として昭和32年9月に発足しました。

現在は、F-15戦闘機等を装備する第2航空団をはじめとして、航空救難や災害派遣で活躍する千歳救難隊、新千歳空港を含めた航空管制業務を行う千歳管制隊、特別輸送機を運用する特別航空輸送隊など、12個の部隊が集う基地です。

各部隊は、北の空の防人として、24時間365日、対領空侵犯措置等各種任務に当たるとともに、所在する千歳市をはじめ、周辺市町のご理解とご支援のもと、訓練に日々邁進しております。

航空自衛隊

令和4年度採用試験

自衛官候補生

▼今年度の採用試験も残りわずか! 北海道内の採用試験日程はこちらをチェック! ▼

採用試験日程	地本	試験日	申込締切	地本	試験日	申込締切
	札幌		1月27日・28日	1月20日	旭川	1月22日・23日
		2月19日・20日	2月10日			2月12日・13日
函館		1月22日 ^① ・23日 ^②	1月21日 ^① ・1月22日 ^②	帯広	1月18日~20日	1月13日
		2月10日 ^① ・11日 ^②	2月9日 ^① ・2月10日 ^②			2月11日・12日

自衛官候補生(任期制自衛官)とは

自衛官候補生とは、任期制自衛官になるための制度です。採用後約3ヶ月間、自衛官として必要な基礎的教育を受けたのち2士(任期制自衛官)に任官され、部隊で勤務することになります。

1任期目(期間)

陸上自衛隊: 1年9ヶ月
海上自衛隊: 2年9ヶ月
航空自衛隊: 2年9ヶ月

任期満了後の進路選択

任期制自衛官は、任期満了ごとに進路を選択することができます!!

お問い合わせは、最寄りの地方協力本部まで!!

引き続き自衛隊で勤務

2年を任期として継続任用されます。選抜試験に合格すれば、「曹」や「幹部」を目指すこともできます。

民間企業等へ転職

転職希望者の就職率はほぼ100%!! 転職活動のサポート体制が充実しています。
・再就職に向けた資格取得機会の提供
・合同企業説明会の開催 等

進学等

自衛隊新卒が国内の大学に進学した場合、一定額の給付金が支給されます。(即応予備自衛官又は予備自衛官に任用されることなど、一定の条件があります。)

▼お問い合わせ先▼



札幌
地方協力本部
☎011-631-5472



旭川
地方協力本部
☎0166-51-6060



函館
地方協力本部
☎0138-53-6241



帯広
地方協力本部
☎0155-23-5882